

# NEWS LETTER



京都教育大学  
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education  
Organization of Educational Research and Practice Centers

第11号(2013.1.21)

教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

## 平成24年度 教育支援センター主催シンポジウム等について(報告)

教育支援センターでは、教育実践に関する支援並びに連携に関する事業を推進するという事業の一環として、各教員や附属学校園が行うシンポジウム等を、センター予算の約3分の1を充てて支援しています。年度当初に大学及び附属学校園の全教員にシンポジウム等の企画を募集し、本年度は16件を採択致しました。開催されたシンポジウム等のうち、2件の報告を掲載します。

### ◎インド音楽入門講座：北インドの弦楽器シタールと太鼓タブラーの競演

日時：平成24年5月1日(火)午後6時～午後7時30分

概要：シタール演奏家のスシュマ小俣氏(ネパール人、元東京藝術大学非常勤講師)とタブラー演奏家の逆瀬川健治氏を招き、演奏を鑑賞した。田中多佳子教授により、パワーポイントを用いたり、ギターなどと比較したり、リズム打ちを皆で行いながら聴いたりなどして、難解とされる音楽に対してわかりやすい解説が試みられた。参加者のうち希望者には、シタールやタブラーを演奏してみる機会も設けた。

参加者：約30名(教職員、学部生・院生、附属教員、附属児童、卒業生、一般)

成果：音楽を専門とする人もそうでない人も、日頃触れることのないインドの音楽と文化の一端に直接触れる機会を提供することができた。参加者数は多くはなかったが、熱心な人が多く、終了後もいつまでも楽器に触れたり、演奏家に質問したりする姿が見られた。翌日、特別授業をすることになっていた附属桃山小学校6年の男子生徒が、何も知らないまま偶然父親と共にきており、最も積極的に参加して、大人たちに刺激を与えてくれた。

### ◎第4回 美術科工芸特別セミナー—企業における産業・工芸デザイン概論と創造デザイン演習—

日時：平成24年11月28日(水)午後1時15分～午後5時30分

概要：産業工芸製品が、企業において構想・デザイン～試作検討～製品化などがどのような工程で成されているのか実際に知り、これらのプロセスを踏まえてランプシェードのデザインを構想し、製品としての具現化に向けて、参加学生自らが考察する。

参加者：50名(学生、卒業生、教員)

成果：参加美術科学生全員が、ランプシェードのデザインを1ヶ月前に提出し、その中から優秀なデザインを6点選抜し、当日に本人のデザイン発表と解説及び協議を行い、構想デザインの検討を参加者全員で行えたので、制作のための具体的なプロセスの検討と吟味の必要性、必然性及びポートフォリオ制作の重要性が良く理解できた。

## 教育について考えるシンポジウム/セミナー/ワークショップ等について(お知らせ)

随時、ホームページや一括送信メールにてお知らせしていきますので、お見逃しのないよう、よろしくお願い致します。

### ◎“性と生”について学ぶ「人権に基づく性教育」シリーズ⑨

テーマ：今こそ、すき間性教育～いつでもどこでもすぐできる性教育実践！～

日時：2013年2月3日(日)10:00～12:00

場所：キャンパスプラザ京都6F 京都教育大学サテライト教室

内容：2013年を迎えました。今回は授業だけでなく、5分10分あればいつでもどこでもすぐできる性教育の紹介です。

学校でも家庭でも、性教育の機会は多くあります。「でも、時間がない」と考えたり、「伝えたいことはあるけれど、それをどのように伝えるのが効果的なんだろう…」と悩んでおられることがあるかもしれません。

そんなときに活躍するのが『すき間性教育』。これを知れば誰でもいつでもどこでも性教育ができます。

実践紹介：京都の現職教員

問い合わせ：教育支援センター 関口研究室 (075-644-8326 sekihisa@)

- ◎「ストレスマネジメント、リラクゼーションを学ぶ」2月4日(月)午後4時～6時(教育支援センター2階 教授スキル室)
- ◎「ホンモノの探究学習を実現するために必要なこと」3月23日(土)午後1時～5時(F12教室)

## 留学生と地域住民との交流プログラム

本年度第4回は、12月5日(水)に「インドネシアについて」というテーマで、インドネシアからの教員研修留学生ヘニーさんにお話を伺いました。インドネシアは多くの島々からなる国で、民族も生活もそれぞれに違っていますが、それを認め残している国だそうです。学校の制服は、月曜と火曜は普通の制服、水曜と木曜は民族服(バティック)、金曜はボーイスカウトの服と決まっているということです。



学校のクラブにコスプレ部があるなど、楽しそうですね。

本年度第5回は、12月12日(水)に「タイ・アユタヤについて」というテーマで、タイからの留学生モーさんにお話を伺いました。アユタヤは、京都のように古い遺跡が多い町です。また、色々なタイ料理も紹介され、本当に美味しかったです。

このプログラムは、入退室は自由です。留学生たちの母国の本当の姿を知りに、是非ご来室下さい。

### 第6回 留学生と地域住民との交流プログラム

#### 「中国横断—ふれあいの旅」

日時：1月23日(水) 午後2時30分～3時30分

講師：範開壘(ハンカイジ)さん

会場：教育支援センター 1階 共同利用室



## 留学生交流演習室のboard deco

教育支援センター1階にある留学生・地域交流演習室ホワイトボードに、幼児教育学科のみなさんが可愛い貼り絵をしてきています。部屋の雰囲気が和みます。また、留学生たちも楽しみにしています。

1月の貼り絵は、雪の中で楽しく遊ぶ動物たちがかわいいですね。

出入り自由の部屋ですので、センターへお越しいただき、学生たちの力作をご覧ください。



## 学生ボランティアについて

### ボランティア活動に関して、学生に周知していただきたいこと

1. 学生が公立学校等でボランティア活動をする場合、必ず、教育支援センター内の地域支援推進室で登録するようお声かけ願います。正式に大学に登録しておくこと、例えば、教員採用試験の書類作成の際に、ボランティア活動の実施について大学側で承認することができ、就職にとって有利に働く場合があります。
2. 京都府内だけでなく、さまざまな地域での多様な学校ボランティア(時間的にも)を紹介することができますので興味関心を持っている学生には、ぜひ、一度、地域支援推進室に来室するようお声かけください。

【教育支援センター内：地域支援推進室】 Tel 075-644-8336 Eメール sien@kyokyo-u.ac.jp

受付時間 月曜日・木曜日 11時～14時 金曜日 11時～15時 担当：河内(かわち)

### 教育支援センター スタッフ

センター長(併)	水山 光春	075-644-8281	mizuyama@	
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@	
実地教育部門	小林 稔	075-644-8229	mkoba98@	
実地教育部門(兼任)	小山 宏之	075-644-5303	koyama@	
モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	sekihisaa@	
特任教員(京都市教育委員会)	桶谷 守	075-644-8214	oketani@	
特任教員(京都府教育委員会)	竹花 裕子	075-644-8216	yuko627@	
事務補佐員 センター全般	杉本 恭子	075-644-8335	kyoko@	
事務補佐員 地域支援推進室	河内真由美	075-644-8336	sien@	月・木10時-13時、金12時-16時
事務補佐員 留学生・地域交流演習室	(16時15分-17時15分) 鄭紫薇	(月・火・木)	修寧(水・金)	
教務補佐員 学校運動部活動指導者育成事業	本藤 大成	075-644-8143	hondo@	火・木・金

TEL 075-644-8335 FAX 075-644-8339 E-mail cert@kyokyo-u.ac.jp

